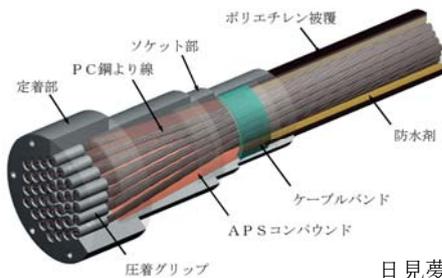


# 新技術・新工法

## APSアンカーケーブル工法

APSアンカーケーブルは、亜鉛メッキPC鋼より線を工場で2重押出被覆し、圧着グリップでソケットに定着を行い、様々な施工環境や条件の下で使用できるようにプレファブ化を図った高い疲労強度を有する構造ケーブル（SPSC）です。国内外の斜張橋やエクストラードード橋を始め、ケーブル構造を持つ鋼・PC・複合構造物に適用されています。一括架設が可能であることから、現場での省力化を推進し、工期短縮に寄与します。

## アンカーの構造



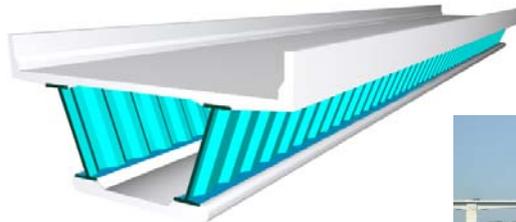
日見夢大橋



## 波形ウェブ複合橋

波形ウェブ複合橋は、プレストレストコンクリート箱桁橋のウェブを波形鋼板に置き換えた複合構造であり、主桁自重の軽量化、プレストレス導入効率の向上、せん断抵抗性の向上、施工の省力化、これらに伴うコスト縮減などが可能となります。波形鋼板は、三次元NC原寸システムと最新鋭のレーザー切断機により、高精度で切断します。また大型専用プレスでウェブ高1.1mまで水平溶接なしで製作できます。

## 波形ウェブ橋のイメージ図



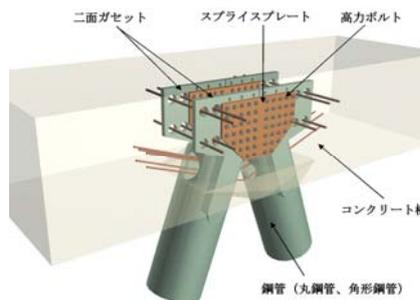
小犬丸川橋



## 二面ガセット工法による鋼トラスウェブ複合橋

鋼トラスウェブ複合橋は、PC箱桁橋のコンクリートウェブを鋼トラスに置き換えた新しい形式の橋梁で、上部工の軽量化、施工の省力化、景観の向上等が図れます。この形式の橋梁では、トラス材の格点部は構造的な重要部位であるばかりでなく、コンパクトで施工性にも優れた構造とする必要があります。二面ガセット工法は、上記の要求性能を満たす格点構造であることが検証され、第二東名高速道路の猿田川橋・巴川橋に採用されています。

## 二面ガセット格点構造



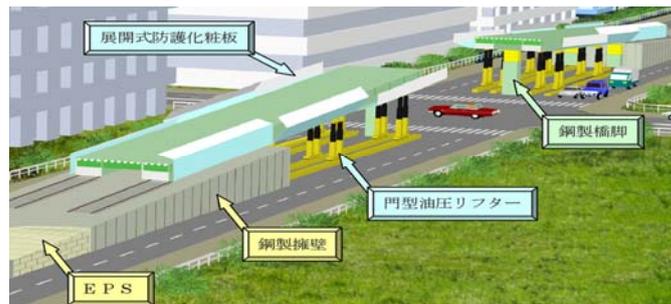
施工状況(猿田川橋)



## DASH工法（交差点立体化急速施工法）

DASH工法は、大豊建設(株)と(株)ハルテックが共同開発したもので、施工時の交通規制期間を極力短縮し、短時間で立体交差を構築する工法です。上部工に展開式防護化粧板を備えた鋼床版箱桁を採用、油圧リフターを用いた送り出し工法で架設し、工程短縮、交通規制日数の低減、安全性の向上を図ります。また、アプローチには拡幅型EPS工法を用い車線規制の軽減を図ります。その結果、現地施工期間を約4ヶ月に短縮できます。

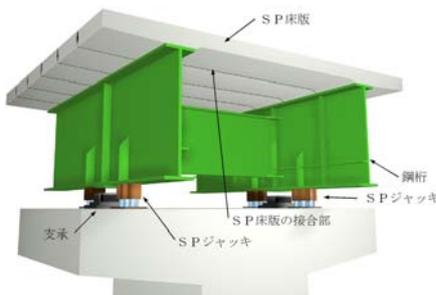
## DASH工法概念図



## SP床版ジャッキダウン工法

「SP床版ジャッキダウン工法」は、「逐次ジャッキアップダウン工法」と「PC版間のせん断キーによる接合」を組合せたプレキャストPC床版を有する連続合成桁橋の施工法です。前者は、従来の工法に比べ鋼桁のジャッキアップダウン量を90%以上低減でき、PC床版への橋軸方向プレストレスの導入を簡単に行うことができます。後者は、PC版間の接合構造を簡素化でき、現場作業の単純化・省力化が図れます。この結果、工期短縮・コストの縮減ができます。

## SP床版ジャッキダウン工法



施工事例



株式会社ハルテック 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-17-3

●技術グループ 設計部 TEL : (03)5295-7616 FAX : (03)5295-7615

URL: <http://www.haltec.co.jp/> e-mail: [tk-sekei@haltec.co.jp](mailto:tk-sekei@haltec.co.jp)